

# 平成29年度学校経営計画書

学校名 岡山市立妹尾中学校

校長名 延原 まどか

## ○本校のミッション（使命、存在意義）

- 〈校訓〉 : 「自覚 自発 自省」  
〈学校教育目標〉 : 「豊かな感性と知性を身につけ、たくましく未来を切り拓き続ける生徒の育成」  
〈指導の重点〉
- 心磨き活動を基軸として道徳教育の充実を図る。（心を耕す）
  - 分かりやすい授業づくりに努め、学力の向上を図る。（学力向上）
  - さまざまな教育活動を通して人間関係づくりに努める。（人づくり）

## ○内外の環境分析

- 〈生徒〉生徒は純朴で、受け身の姿勢が見られる。また、自己肯定感や自尊感情が低い生徒も多くいる。その反面、地域の行事等に参加する生徒も多くおり、地域に愛着を持っている傾向にある。家庭学習の習慣がついておらず、基礎学力の定着が身につけていない生徒が多い。
- 〈教職員〉教職員は、ベテランと若い教員のバランスがよく、目指す方向性の共通理解ができて、日々の教育活動に励んでいる。小規模校のために職員一人一人にかかる負担は大きく、複数の校務分掌を持っている。
- 〈保護者〉学校教育活動に協力的である。保護者が来校する機会が少しずつ増えてきた。学校アンケートでは、概ね肯定的な意見が多い。
- 〈地域〉自然に囲まれ、古くからこの地に住んでいる人も多い。生徒は、行事の参加により、地域住民とのつながりが強く学校への期待や関心も大きい。学校へは協力的である。

## ○ミッションの追求を通じて、実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

- 《学校の姿》 ・生徒が主体的に活動する学校  
・生徒や教職員に愛される学校  
・地域と協働し信頼される学校
- 《生徒の姿》 ・自他を大切にし、自ら考え判断、行動できる生徒  
・何事も主体的、意欲的に学ぼうとする生徒  
・学校や地域に愛着を持ち社会に貢献できる生徒
- 《教職員の姿》 ・『あかるく、きびしく、あたたかく』愛情豊かに生徒に関わる教職員  
・生徒や保護者、地域から信頼される教職員  
・自らを高め協力して教育の資的向上に努める教職員

## ○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

- (1) 「心磨き活動」を推進し、心豊かな生徒を育てる。
- 「道徳」および「道徳教育」の充実を図る。  
心磨き清掃・放送、輪番道徳、命を育む授業 等
  - あいさつ運動の定着に努め、「いつでも あいさつ」のできる生徒を育てる。
  - 「食育」の指導を通して、健康な心と体を育て、感謝の気持ちを育む。  
弁当の日、妹尾中ファームの活用、生徒作った給食献立 等
- (2) わかりやすく、生徒が意欲的に取り組める授業づくりの工夫・実践を図る。
- 「めあて」「まとめ」を大切にし、わかりやすい授業を心がける。
  - 指導方法や評価方法の改善に努め、教員の授業力向上を図る。
  - 基礎基本を重視し、家庭学習の充実を図る。
  - 小・中連携を充実させ教科間の連携を深める。
  - 言語活動の充実させ、生徒が意欲的に取り組み自分の考えを表現できる生徒を育てる。
- (3) さまざまな活動への参加を通して人間関係づくりの充実を図る。
- 生徒の活動場を増やしたり内容を充実させ、自己肯定感や自己有用感を高める。
  - キャリア教育を充実し、社会の変化に対応できる生徒を育成する  
講演会、職場体験 ボランティア活動 等
  - ボランティア活動を推進し、地域への愛着を深める（ESD）。  
さくら祭、春辺清掃、松風園訪問（53年目）、児島線クリーン作戦 等